

## (1) SPOD共通事業

### ① SPODフォーラム2022

日 時：令和4年8月24日（水）～26日（金）

開催方法：オンライン

主催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）／愛媛大学

全体テーマ：「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」

参加費：SPOD加盟校の教職員 無料

SPOD加盟校以外の教職員 10,000円

申込者数：581名（延べ1,492名）

### SPODフォーラムとは

大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD・SDプログラムならびに組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供する。

### 特徴

1. 多彩な講師陣
2. 職場で使える実践型プログラム
3. SDプログラムも多数開講

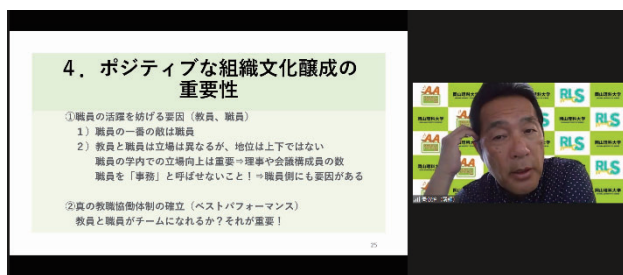
### 実施内容及び成果

あらゆる立場の教職員が、その場でのスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供することを目的として、8月24日～26日の3日間、「SPODフォーラム2022」を開催した。コロナ禍のため昨年度に引き続き全面オンライン開催とし、主催校である愛媛大学を中心に、徳島大学、香川大学、高知大学が共同で運営にあたった。今回で13回目となる本フォーラムでは、前回よりも多い、37プログラムの開講に加えて、ポスターセッション・情報交換会を実施した。全体テーマに「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」を掲げ、近年高い関心が寄せられているダイバーシティや教学マネジメントに関するもの、日常的な授業や業務の改善に関するもの、さらに、オンライン授業のノウハウを提供するものなど、多彩なプログラムとなり、参加者それぞれの立場ごとに、自身が何を身につければよいのかを考える契機とした。

シンポジウムでは、「個別最適化された教育・人材育成の実現」をテーマに、小松川浩氏（公立千歳科学技術大学）、秦敬治氏（岡山理科大学）、高橋浩太郎氏（文部科学省高等教育局）の3名のシンポジストによる講演の後、中井

俊樹氏（愛媛大学）をコメンテーターに交え、ディスカッションや質疑応答が行われた。参加者からは、「個別最適化について、実践、理念、政策といった多様な観点から話が聞けて大変参考になった」等のコメントがあった。





大学等の経営管理を担うために必要な情報を収集し、トップリーダーとしての能力を高めることを目的とした「トップリーダーセミナー」は、2名の講師によって2コマ開講された。「カリキュラムの編成」では、大学におけるカリキュラム編成の基本的な

知識を学び、参加者の所属組織の特徴にあったカリキュラムの課題解決の方法を考える機会となった。受講者からは、「カリキュラムの構成要素からみた自大学における課題を抽出し改善していきたい」「漠然と改善点を挙げていくのではなく、構成要素に基づくことで、教職員が共通の視点でカリキュラムを見直すことができ、また、見落としがちなものにもきちんと目を向けられると感じた」等のコメントがあった。2コマ目の「これからの大学教育と経営の在り方～生き残る大学となるために～」では、日本の大学における問題点等を踏まえて、自分なりの大学の課題とその解決法を考える研修となった。受講者からは、「新しい時代の大学の理想像を知る機会になった」「将来的な大学のあり方、事務職員としてのあり方（働き方）を考える良いきっかけになった」等のコメントがあった。

2日目の夜には、ポスターセッション・情報交換会が開催された。ポスターセッションでは、加盟校内外から19組（うち発表代表者の所属が加盟校17校、加盟校外2校）の取組発表があり、Zoomのブレイクアウト機能を活用した質疑応答を実施し、発表者と参加者の議論の機会がもたれた。情報交換会では、SPODの講師陣やスタッフと語り合うブレイクアウトセッションを実施したほか、全体での交流イベントも行われた。和気藹々とした交流や白熱したゲームが展開され、オンラインにおける交流の可能性を示すものとなった。



本フォーラムには全国各地から、581名（延べ1,492名）の申し込みがあり、約35%が加盟校外（四国外）からの参加であった。フォーラム終了3週間後からWeb回答形式で実施した事後全体アンケートでは、回答者の約99%から「満足」の評価を得るとともに、知識やスキルの習得、業務等への積極的な取組等の各項目で、約95%が肯定的回答をする結果となった。

なお、次回の「SPODフォーラム2023」は、愛媛大学を主催校とし、愛媛大学城北キャンパスにおいて、4年ぶりの対面開催を予定している。

SPODフォーラム2022の申込者数について（プログラム別）

日時	番号	プログラム名	講師	定員	申込者数	内訳			SPOD内	SPOD外
						教員	職員	その他		
8月24日（水） 1時限	2401A	職員のための講師養成講座－日常業務の遂行に活かすことも見据えて－	藤本 正巳 阿部 光伸	40	16	0	16	0	5	11
	2401B	FD担当者のためのFD企画講座	吉田 博 仲道 雅輝 塩川 奈々美 上月 翔太	30	18	10	8	0	7	11
	2401C	オンライン授業でのアクティブラーニング	金西 計英	40	21	19	2	0	9	12
	2401D	ケースを通して考える中間管理職入門	小方 直幸 野口 里美 石原 卓也	40	12	0	12	0	3	9
	2401E	学生支援に関わる学生対応カウンセリング（入門編）	杉田 郁代	40	32	7	25	0	19	13
8月24日（水） 2時限	2402C	ケースで考える若手職員のための学生支援・学生対応	藤巻 晃	30	25	1	24	0	11	14
	2402D	実践！D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）推進	黒澤 あずさ	40	14	5	9	0	7	7
	2402E	オンライン授業でもインタラクティブな学びを	杉田 郁代 高畑 貴志	40	24	22	2	0	14	10
8月24日（水） 3時限	2403A	面談に役立つアカデミック・アドバイジングの手法（基礎編）	清水 栄子 小林 忠資	40	27	11	16	0	12	15
	2403B	支え促す体験学習	高橋 平徳	40	17	9	8	0	14	3
	2403C	大学職員のための 教職協働入門	藤本 正己	40	24	2	22	0	10	14
	2403D	これだけは押さえておきたいオンライン授業の基礎と実践	小坂 有資 藤澤 修平	100	46	40	6	0	31	15
	2403E	ルーブリックを用いて学生の成果を可視化するアセスメント	塩崎 俊彦 高畑 貴志	70	63	32	30	1	23	40
8月25日（木） 1時限	2501A	トップリーダーセミナー   カリキュラムの編成	中井 俊樹	200	58	27	31	0	29	29
	2501B	教務担当者が知っておきたい法令・制度と最新政策動向	宮林 常崇	70	59	5	54	0	25	34
	2501D	プロジェクト達成のためのマネジメント手法	丸山 智子	40	27	7	20	0	16	11
	2501E	Blended Learningで活用できるグループワークのアイデア	村田 晋也	40	31	27	4	0	15	16
8月25日（木） 2時限	2502A	トップリーダーセミナー   これからの大学教育と 経営の在り方 ～生き残る大学となるために～	秦 敬治	200	125	35	89	1	74	51
	2502B	自立型人材となるための「セルフ・エンパワメント 実践」	阿部 光伸	40	14	7	7	0	12	2
	2502C	テキストマイニング入門	塩川 奈々美	40	36	21	14	1	24	12
	2502D	中堅職員のための 後輩指導 -理論と実践方法-	竹中 喜一	40	21	2	19	0	15	6
	2502E	PowerQuery for Excelを用いた効率的なデータ処理	高畑 貴志	200	68	20	48	0	43	25
8月25日（木） 3時限	2503F	シンポジウム   「個別最適化された教育・人材育成の実現」	秦 敬治 小松川 浩 高橋 浩太郎 コメンテーター：中井 俊樹 進行：仲道 雅輝	500	225	119	105	1	137	88
8月26日（金） 1時限	2601A	教学マネジメント入門－学修者本位で捉えなおす教育活動－	山咲 博昭 荒木 俊博 若野 摩耶 白藤 康成 堀 佑二	40	26	8	18	0	5	21
	2601B	事例で考える教職課程における多様な履修相談対応	小野 勝士	100	56	7	49	0	26	30
	2601C	パフォーマンス評価のための課題の作り方	飯尾 健	40	15	14	1	0	10	5
	2601D	大学教職員のためのZOOM百物語	石井 知彦	200	109	42	67	0	83	26
	2601E	はじめての係マネジメント講座～係長1年目のTips～	吉岡 睦	40	14	0	14	0	12	2
8月26日（金） 2時限	2602B	コロナ禍における障害学生への合理的配慮と修学支援	佐々木 銀河	100	40	20	20	0	21	19
	2602C	若手職員向け超入門！研究者と学術情報流通	井上 昌彦	40	31	3	28	0	25	6
	2602D	大人数のオンデマンドe-Learning授業を運用するためには	林 敏浩	100	52	37	15	0	28	24
	2602E	やってみよう！ピア・サポート～理論と実践の両面から～	佐々木 菜々	70	18	6	12	0	12	6
8月26日（金） 3時限	2603A	事例から考える 教学IRデータの活用	真鍋 亮	40	36	12	24	0	18	18
	2603B	業務をつなぐ・広げる・デザインする（若手職員対象）	橋本 規孝	40	14	0	14	0	9	5
	2603C	学生の自律性を引き出す授業設計	仲道 雅輝	32	24	24	0	0	12	12
	2603D	大学における教育の倫理－学生とのかわりを省察する－	上月 翔太	70	38	21	16	1	25	13
	2603E	地域連携担当者のための合意形成術講座	前田 眞	40	16	4	12	0	8	8
合計				2912	1492	626	861	5	849	643

No	テーマ	発表代表者			SPOD 加盟校	共同発表者		
		所属	氏名	職種		所属	氏名	職種
1	高専における担任教員の役割	阿南高専創造技術工学科	坪井 泰士	教員	○	阿南高専創造技術工学科	角野 拓真	教員
2	四国地方国立大学大学院教育の射程	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	上月 翔太	教員	○			
3	学習意欲の向上に関する大学の取り組み事例の分析	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	藤本 正己	教員	○	徳島文理大学 地域連携センター 兼 総務部総務課	藤巻 晃	職員
4	みんなで進めるKadaiDX~DX×SD~	香川大学情報部情報基盤課	小寺 賢志	職員	○	香川大学情報部情報企画課	武田 啓之	職員
						香川大学情報部情報基盤課	渡部 昌尚	職員
5	IRダッシュボードIRQuAによる学びの支援	神田外語大学学長室IR推進チーム	村田 裕司	職員		神田外語大学学長室IR推進チーム	寺澤 岳生	職員
6	Ed App LMS等を用いた機関別かつ個人別最適な職員研修プログラムの試行	北九州市立大学国際化推進課	川村 和弘	職員				
7	大学院における地域協働実習とアクションリサーチ	高知大学大学院総合人間自然科学研究科地域協働学専攻	玉里 恵美子	教員	○	高知大学大学院総合人間自然科学研究科地域協働学専攻	石筒 覚	教員
						高知大学大学院総合人間自然科学研究科地域協働学専攻	中澤 純治	教員
8	双方向性を担保したオンデマンド型授業実践	高知大学大学教育創造センター	杉田 郁代	教員	○			
9	SPODフォーラムにおけるオンデマンドプログラムの実施	高知大学大学教育創造センター	高畑 貴志	教員	○			
10	仮想実習パートナーとのオンライン連携による学び	高知大学地域協働学部	松本 明	教員	○	高知大学地域協働学部	中澤 純治	教員
11	双方向学修をめざす「時事問題」授業の展開	四国大学、短期大学部ビジネス・コミュニケーション科	蔵谷 哲也	教員	○			
12	学生の学習成果に関する自己評価と教員評価の比較	徳島大学高等教育研究センター	飯尾 健	教員	○	徳島大学高等教育研究センター	塩川 奈々美	教員
						徳島大学高等教育研究センター	吉田 博	教員
13	徳島大学における休学者・退学者等に関する現状と課題	徳島大学高等教育研究センター	塩川 奈々美	教員	○	徳島大学高等教育研究センター	吉田 博	教員
						徳島大学高等教育研究センター	飯尾 健	教員
						徳島大学高等教育研究センター	山崎 一恵	職員
14	変容社会における自己探究とスキル開発の工夫と考察	徳島大学高等教育研究センター	島 一樹	教員	○			
15	気軽に参加できるオンラインFDの開発とその成果	徳島大学高等教育研究センター	吉田 博	教員	○	徳島大学高等教育研究センター	飯尾 健	教員
						徳島大学高等教育研究センター	塩川 奈々美	教員
16	充実したキャンパスライフをすごそう	徳島文理大学 学生部学生支援課	松下 宗孝	職員	○	徳島文理大学 学生部学生支援課	福田 トモコ	職員
						徳島文理大学 学生部学生支援課	藏本 賀織	職員
						徳島文理大学 学生部学生支援課	川西 貴子	職員
						徳島文理大学 学生部学生支援課	田中 裕子	職員
						徳島文理大学 学生部学生支援課	鍋浦 久美	職員
17	大学の避難所運営における学生の役割について	徳島文理大学 地域連携センター兼 総務部総務課	藤巻 晃	職員	○	徳島文理大学 教務部教務課	多田 一子	職員
						徳島文理大学 情報センター	松田 和也	職員
						徳島文理大学 学生部学生支援課	原 里沙	職員
						徳島文理大学 総務部総務課	近藤 友莉香	職員
18	学生支援の課題について～徳島文理大学の調査報告～	徳島文理大学 地域連携センター兼 総務部総務課	藤巻 晃	職員	○	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	藤本 正己	教員
						徳島文理大学 学生部学生支援課	鎌田 宗	職員
						徳島文理大学 保健センター	廣瀬 優希	職員
						徳島文理大学 国際部語学センター	橋本 実佳	職員
19	専門課程における初年次教育は、如何にあるべきか？	徳島文理大学保健福祉学部	宮原 和沙	教員	○	徳島文理大学保健福祉学部	桃井 克将	教員